

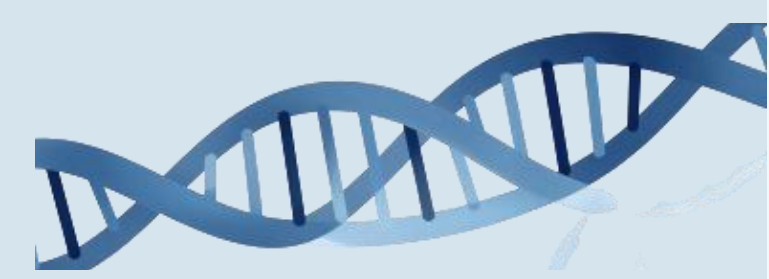
バイオ生成AI実証・実装コンソーシアム

Bio-AGILE

生命科学×生成AIの実証・共創基盤

gLMを活用した実証を通じて、
日本発バイオ生成AI基盤を共に築く





生命科学researchの変化

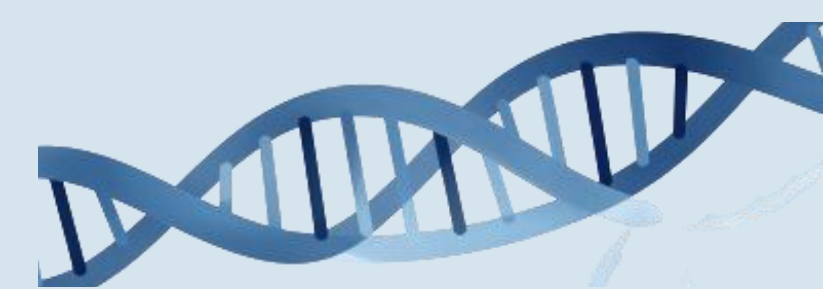
- データの爆発的増加
- 生成AI・gLMの急速な進展
- 実験の負荷とコスト増大
- グローバルな開発競争

現状の壁

- ⚠️ 自社単独では検証が難しい
- ⚠️ AI結果の有効性が評価できない
- ⚠️ 実験検証との接続が困難
- ⚠️ 導入・実装効果が不透明

「使えるAI」にするためには、実証（PoC）と実験検証が必要

Bio-AGILEが目指す循環



実証を通じてAIの活用可能性を検証する共創基盤



AI ↔ 実験の循環を実現

Bio-AGILEとは (活動内容)

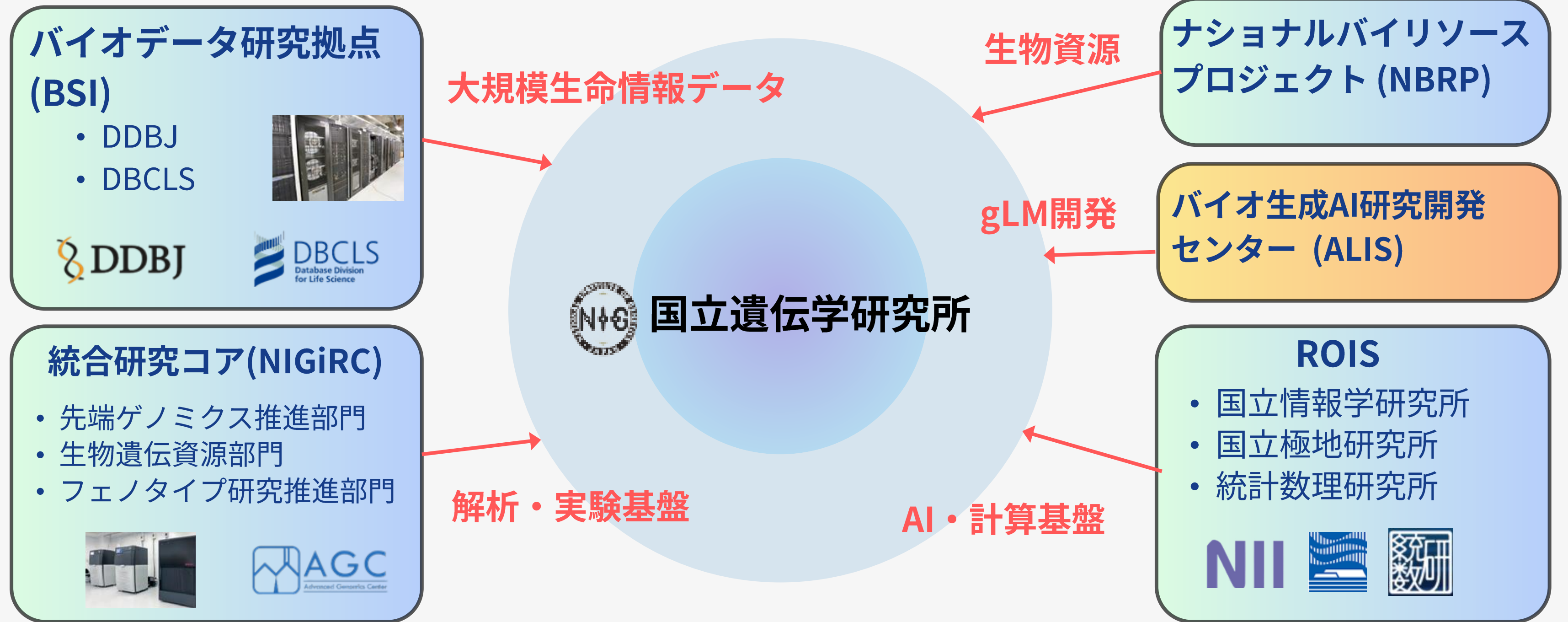


gLMを中核に、PoC・データ・実験を循環させる

遺伝研・ROISの強み

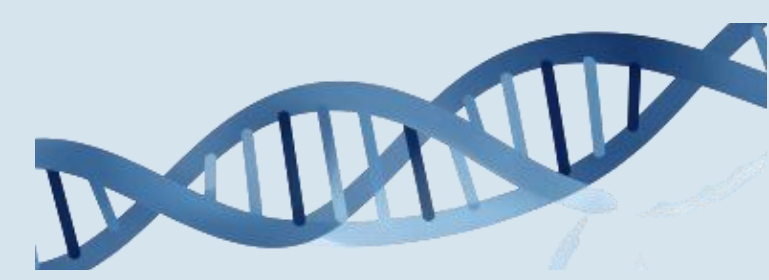


データ・AI・実験を統合可能な研究基盤



AI開発から、実証・実装までを一体的に推進

参加メリット



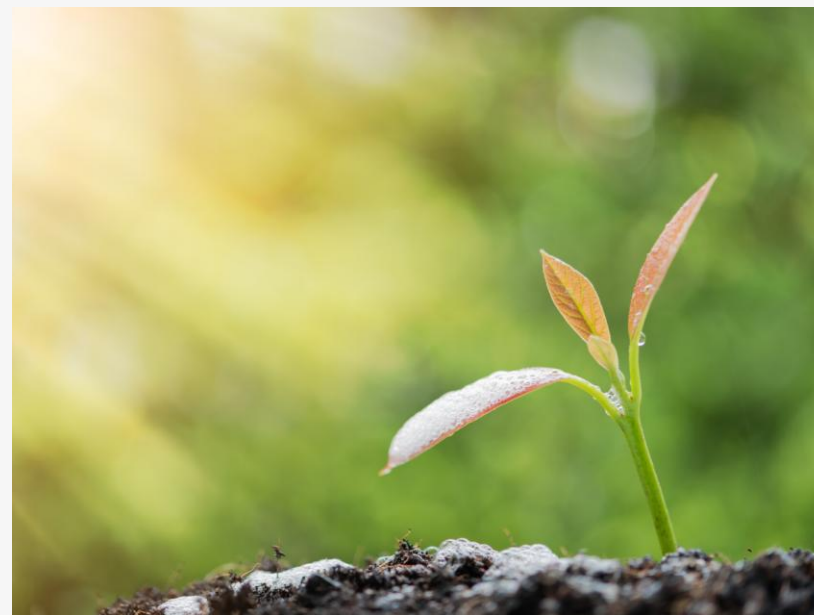
gLMへの先行アクセス



自社課題での検証 (PoC)



日本発gLMの高度化への参画



新規研究開発・事業創出への展開



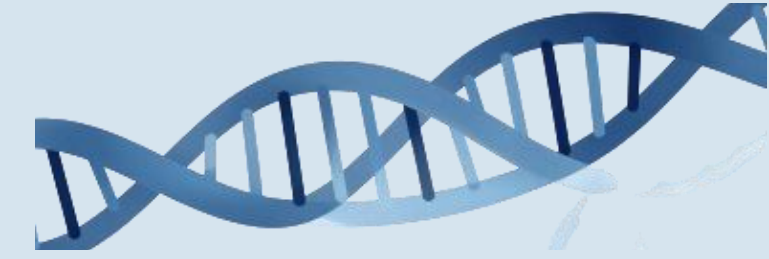
PoC・検証結果の共有・活用



専門家・研究者との連携

日本発gLMの高度化・社会実装への参画

参画の流れ



参加費は原則無償



秘密保持対応可



段階的な連携

gLMを活用したPoCを段階的に推進

AI×生命科学の次世代研究開発を共に実装する

企業・大学・研究機関の 参画を歓迎します

実証を通じて、日本発バイオAI基盤を共に築く

お問い合わせ・
参加申請先

国立遺伝学研究所 リサーチ&イノベーション・ブリッジセンター
ORD／産学連携・知的財産室
担当：良本由香（URA）

☎ 055-981-5835

✉ yryomoto@nig.ac.jp

📍 〒411-8540 静岡県三島市谷田1111